



2020年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社AmidAホールディングス
コード番号 7671 URL https://www.amida.holdings/

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 藤田 優

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼グループ統括管理本部長 (氏名) 浅田 保行 TEL 06(6449)5510

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第2四半期の連結業績（2019年7月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第2四半期	1,378	4.6	119	53.1	123	102.2	132	194.3
2019年6月期第2四半期	1,318	-	78	-	60	-	45	-

(注) 包括利益 2020年6月期第2四半期 132百万円 (194.3%) 2019年6月期第2四半期 45百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第2四半期	63.05	-
2019年6月期第2四半期	22.46	-

(注) 1. 当社は、2018年6月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年6月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第2四半期	1,953	1,545	79.1
2019年6月期	1,840	1,413	76.8

(参考) 自己資本 2020年6月期第2四半期 1,545百万円 2019年6月期 1,413百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2020年6月期	-	0.00	-	-	-
2020年6月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年6月期の連結業績予想（2019年7月1日～2020年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,832	4.2	163	△29.7	163	△24.0	152	2.9	72.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年6月期2Q	2,104,100株	2019年6月期	2,104,100株
② 期末自己株式数	2020年6月期2Q	64株	2019年6月期	64株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年6月期2Q	2,104,036株	2019年6月期2Q	2,007,065株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種政策の効果を背景に企業業績の改善に伴う雇用・所得環境の改善傾向が続き、緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、米中貿易摩擦への懸念など通商問題及び海外情勢の不安定化や、国内においては消費税増税による駆け込み需要の反動減等の消費の落ち込みが懸念されるなど、先行きは不透明な状況となっております。

一方、EC通販市場における印章市場は拡大が見込まれるものの、印章業界全体ではやや減少の傾向にあり、顧客獲得のための企業間競争が更に激しくなる状況の中、購入経路（パソコンからスマートフォンの比率逆転）の変化によって、今後も顧客獲得のための集客（サーチワード広告等）コストは増加する傾向にあり、更に人件費の高騰や物流コストの上昇等により企業収益への影響は強まると考えております。

このような環境の下で、当社グループにおきましては、インターネットビジネスの可能性を追求し、一人でも多くの方にその利便性・楽しさ・文化的な豊かさを伝え、グローバルな経営に取り組むという経営方針の下、既存のデジタルマーケティング事業による集客と、販売、製造、出荷まで行うEC通販事業をグループ全体で一気通貫型の事業体系として取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間においては、情報取得を目的とする顧客への情報系サイト（「印鑑うんちく事典」等）への訪問客数（流入数）の増加及び、キーワード検索順位の安定化によって、グループサイト全体の流入数は8,016,919件（前年同期比52.6%増）となり増加傾向で推移いたしました。流入数のうち実際に購入に至った割合（CVR）は前年同期と比較して1.2ポイント減少し2.4%となりましたが、購入を目的とする顧客への販売系サイト（「ハンコヤドットコムサイト」等）の自然検索順位が上昇しており、受注件数は前年同期と比較して3,409件（前年同期比1.8%増）増加いたしました。

その結果、EC通販事業におきましては、客数は189,492人（前年同期比1.9%増）、客単価は7,276円（前年同期比2.7%増）となりました。

主な商材区分別の状況は、彫刻（主に印鑑及び印鑑ケース等の取り扱い）では、売上高は805,333千円（前年同期比2.0%増）となり、スタンプ（主に浸透印及びゴム印等の取り扱い）では、売上高は335,251千円（前年同期比6.2%増）となり、印刷（主に名刺、カレンダー等の取り扱い）では、売上高は180,703千円（前年同期比2.9%増）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,378,797千円（前年同期比4.6%増）となりました。販売費及び一般管理費においては、広告運用の見直しにより販売促進費の削減を図ったことにより、営業利益は119,749千円（前年同期比53.1%増）、経常利益は123,349千円（前年同期比102.2%増）となり、特別利益に役員退職慰労引当金戻入額50,000千円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は132,666千円（前年同期比194.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,495,088千円となり、前連結会計年度末に比べ145,030千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金159,361千円の増加等によるものであります。また、固定資産は458,564千円となり、前連結会計年度末に比べて32,357千円減少いたしました。これは主に、有形固定資産の減少19,675千円、無形固定資産の減少10,351千円等によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における資産合計は1,953,653千円となり、前連結会計年度末に比べ112,672千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は326,134千円となり、前連結会計年度末に比べ30,461千円増加いたしました。これは主に、買掛金30,557千円、未払金11,499千円の増加及び未払法人税等8,839千円の減少等によるものであります。また、固定負債は81,659千円となり、前連結会計年度末に比べ50,455千円減少いたしました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における負債合計は407,793千円となり、前連結会計年度末に比べ19,994千円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,545,860千円となり、前連結会計年度末と比較して132,666千円増加いたしました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上132,666千円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ159,361千円増加し1,128,918千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、165,024千円(前年同四半期は、30,783千円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益173,349千円、減価償却費35,709千円、仕入債務の増加額30,557千円、法人税等の支払額47,954千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、5,663千円(前年同四半期は、40,569千円の支出)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出5,253千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増減はありませんでした。(前年同四半期は、111,983千円の収入)

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年6月期の通期の連結業績予想につきましては、2019年8月9日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

なお、EC通販事業の主要商材である印鑑及びスタンプについては新生活開始に向けた各種手続きが必要となる1月から4月が需要期であり、利益面においては、販売商材の利益率の違い等により1月から3月の第3四半期に高くなるという季節変動があります。また、下期に計画しておりましたブランディング強化のためのプロモーションを予定通り実施いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	969,557	1,128,918
売掛金	87,041	110,129
商品及び製品	61,336	57,272
仕掛品	371	415
原材料及び貯蔵品	200,569	178,942
その他	31,182	19,410
流動資産合計	1,350,058	1,495,088
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	108,606	105,203
機械装置及び運搬具(純額)	140,027	124,439
工具、器具及び備品(純額)	5,194	4,510
土地	113,078	113,078
有形固定資産合計	366,907	347,232
無形固定資産		
ソフトウェア	91,584	83,392
その他	3,063	904
無形固定資産合計	94,648	84,296
投資その他の資産	29,366	27,035
固定資産合計	490,922	458,564
資産合計	1,840,981	1,953,653
負債の部		
流動負債		
買掛金	49,039	79,596
未払金	139,716	151,216
未払法人税等	47,954	39,114
ポイント引当金	17,996	9,140
その他	40,967	47,067
流動負債合計	295,672	326,134
固定負債		
役員退職慰労引当金	126,480	76,480
その他	5,634	5,179
固定負債合計	132,114	81,659
負債合計	427,787	407,793
純資産の部		
株主資本		
資本金	79,913	79,913
資本剰余金	69,913	69,913
利益剰余金	1,263,510	1,396,177
自己株式	△143	△143
株主資本合計	1,413,193	1,545,860
純資産合計	1,413,193	1,545,860
負債純資産合計	1,840,981	1,953,653

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
売上高	1,318,221	1,378,797
売上原価	646,568	674,853
売上総利益	671,653	703,944
販売費及び一般管理費	593,425	584,195
営業利益	78,227	119,749
営業外収益		
受取利息	5	6
補助金収入	—	3,483
還付加算金	48	16
その他	35	93
営業外収益合計	88	3,599
営業外費用		
支払利息	8	—
株式交付費	5,474	—
上場関連費用	11,844	—
その他	0	0
営業外費用合計	17,326	0
経常利益	60,989	123,349
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	—	50,000
特別利益合計	—	50,000
税金等調整前四半期純利益	60,989	173,349
法人税、住民税及び事業税	17,046	39,115
法人税等調整額	△1,138	1,567
法人税等合計	15,908	40,682
四半期純利益	45,081	132,666
親会社株主に帰属する四半期純利益	45,081	132,666

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	45,081	132,666
その他の包括利益	—	—
四半期包括利益	45,081	132,666
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	45,081	132,666
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	60,989	173,349
減価償却費	36,808	35,709
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	△50,000
ポイント引当金の増減額(△は減少)	8,534	△8,856
受取利息	△5	△6
支払利息	8	—
株式交付費	5,474	—
上場関連費用	11,844	—
未払消費税等の増減額(△は減少)	△4,414	7,457
売上債権の増減額(△は増加)	△7,754	△23,087
たな卸資産の増減額(△は増加)	△42,869	25,646
仕入債務の増減額(△は減少)	40,457	30,557
その他の資産の増減額(△は増加)	14,153	12,061
その他の負債の増減額(△は減少)	△10,686	10,142
小計	112,540	212,973
利息及び配当金の受取額	5	6
利息の支払額	△8	—
法人税等の支払額	△81,753	△47,954
営業活動によるキャッシュ・フロー	30,783	165,024
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△38,372	△409
無形固定資産の取得による支出	△1,254	△5,253
差入保証金の差入による支出	△943	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△40,569	△5,663
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△5,018	—
株式の発行による収入	128,845	—
上場関連費用の支出	△11,844	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	111,983	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	102,197	159,361
現金及び現金同等物の期首残高	761,667	969,557
現金及び現金同等物の四半期末残高	863,864	1,128,918

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、EC通販事業以外の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。